

コピーして使おう!

DHの フロク

患者さんのやる気を引き出し、継続してもらうために！
このコーナーではP.29『ナルホド脳科学』の内容をもとに、
現場で活用できる効果的なツールをご紹介します。

今回のポイント

脳は自分の名前が添えられた情報に関心を持つ。

ツールNo.13

自分ごとになりやすい！ お口のパーソナルカード

自分の歯が何本あるのか、歯ぐきのどこが腫れているのか。
情報を患者さん自身にしっかり記憶してもらうには、
“私のお口の話”として関心を持ってもらうことが必要です。
そこでぜひ、患者さんの名前を添えて情報を伝えてみてください。
「今、自分の口の中はこうなっているんだ」と興味を持つことで、
ケアの方法やカリエスの原因を伝えやすくなります。

使い方

- ① ツールをコピーして切り取る。
- ② 患者さんの名前を書き、現在の歯の本数と治療した歯の本数、歯肉が腫れている部分を記入する。
*治療した歯や歯肉炎の部分に色を塗ってあげると◎!
*お口のことで患者さんから質問があれば、その答えもコメント欄に記入。
- ③ 次回の来院時に持ってきてもらい変化を比べたり、新たな疑問があれば質問してもらう。

オーラル 花子 さんのお口

歯は ぜんぶで 28 本

治療した 歯は 3 本

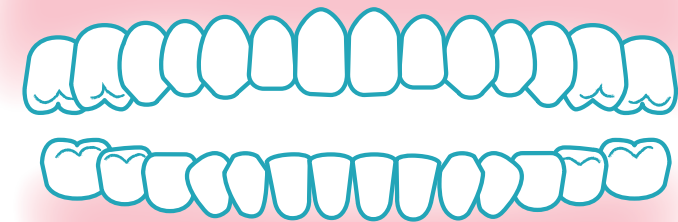
歯ぐきが赤く なっているところは 3ヶ所 あります。

メッセージ
歯ぐきが赤いところは、有虫歯で腫れた。ワタトコトコで
磨きまわす。腫れれば、やけどはブロックの歯ぐきになりまわす。
虫歯のメンテナンスを、楽しみにしています。 花子 様より

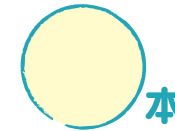
記入例

ツールを使った感想を、ぜひ編集部までお寄せください！ EMAIL: tuftclub@oralcare.co.jp

さんのお口



歯は
ぜんぶで



本



治療した
歯は



本

歯ぐきが赤く
なっているところは



ヶ所

あります。

メッセージ

より

DH

DHのフロクが、ダウンロードできます!

<http://oralcare.ne.jp/tuftclubstore/furoku> パソコンからダウンロードし、どんだんご活用ください。